

令和4年度 全国学力・学習状況調査

文部科学省では平成19年度から全国的に子どもたちの学力を把握するための全国学力・学習状況調査を実施しています。

調査実施日 令和4年4月19日

調査対象 第6学年

調査科目 国語・算数・理科

国語

．．．．． 全国平均と比較し、やや上回っています。

〔調査結果の分析〕

- 説明文や物語文を読み、適切な説明や理由を選択する問題で、正答率が全国平均を上回っています。
- 記述に関する問題の正答率が、全国平均と比較して努力を要します。
特に、条件に合わせて自分の考えを書く問題の正答率が、全国平均と比較して努力を要します。
- 文章中にひらがなで書かれた言葉を漢字に書き直す問題の正答率が、全国平均と比較して努力を要します。

《課題》

- ・理由や根拠、条件に合わせて自分の考えを明確にして書きまとめることに課題があります。
- ・文章中で使う漢字を適切に選び、選んだ漢字を使って文章を書くことに課題があります。
- ・問題の後半になると無回答率が増えるため、問題形式への慣れや集中力の継続などに課題があります。



《今後の取組》

- ・日記や手紙を書いたり、自分の考えや感想を書いたりするなど「書く活動」の充実に取り組みます。
- ・既習の漢字の意味を考えて使う習慣が身につくように、普段の学習から文章を書く際に漢字を適切に使えるように指導していきます。
- ・問題形式に慣れるため、様々な形式の問題に取り組みます。

算数

．．．．． 全国平均と比較し、やや上回っています。

〔調査結果の分析〕

- ほとんどの調査項目において、全国平均を上回っています。
- 最小公倍数を求める問題の正答率が、全国平均と比較して努力を要します。
- 全国平均は上回っていますが、正答率が低かったのは、割合の思考・判断が必要な問題、図形を描く問題です。

《課題》

- ・「最小公倍数」や「割合」などの意味の理解や問題を解く力に課題があります。
- ・授業で学習した内容を生活に結び付けて考える機会が不足しており、様々な形式の問題を解く力に課題があります。



《今後の取組》

- ・算数の学習で使う用語の意味を確かめ、補充・発展問題にも取り組みます。
- ・図や言葉の意味と関連づけて式の意味を説明する活動を取り入れます。
- ・ただ答えを求めるだけでなく、答えを導くまでの自分の考えを論理的に説明できるように指導していきます。
- ・問題形式に慣れるため、様々な形式の問題に取り組みます。

理科 …… **全国平均と比較し、やや上回っています。**

〔調査結果の分析〕

- 記述に即した観察や実験の記録を選んだり、試してみたいことを基に見出された問題を書いたりする設問など、全国平均を上回っています。
- 実験の結果を基にして問題に対する答えを記述する「思考力・判断力・表現力」にやや努力を要します。
- 実験器具の名称や使い方についての理解にやや努力を要します。

《課題》

- ・実験の結果からその根拠を明らかにして問題に対する答えを導くことに課題があります。



《今後の取組》

- ・問題→予想→実験・観察→結果の学習をくり返し行い、実験の結果を基にして、問題に対する答えを記述できるような手立てを工夫してきます。
- ・実験器具の名称や使い方について、一人ひとりが実際に取り扱うことを重視して指導していきます。